

科目（講座名）		政治・経済	4 単位	必修選択
教科書	高校政治・経済（実教出版）		担当教諭	
副教材	なし			

1.

学習の目標

民主主義の本質を理解し、広い視野から現代の政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につけさせる。

授業内容

政治・経済・国際関係などに関する諸課題について学習する。公民的分野の基礎的・基本的事項に関して学習する。

学習方法

板書を中心とした一斉授業形式をとり、必要に応じてプリント学習を併用する。多様な角度から考察できるように、各種統計・資料を活用する。

評価の観点

関心・意欲・態度	現代の政治・経済・国際関係について関心を高め、それぞれの課題を意欲的に追究するとともに、客観的に考えようとする態度を身につけている。
思考・判断	現代の政治・経済・国際関係に関わる事象から課題を見だし、その課題の本質や望ましい解決の在り方などについて、広い視野に立って多角的・多面的に考察し、様々な立場を踏まえながら公正に判断している。
技能・表現	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々な手段を通して収集し、かつ、集めた情報を主体的に選択し活用するとともに、追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現できる。
知識・理解	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や理論などを理解し、その知識を身につけている。

評価方法

前記の観点について、年間の成績を総合的に判断し評価する。

年間計画

学期	月	配当 時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4 5 6 7	5 2	現代の政治	民主政治の基本原則 日本国憲法の基本的性格 日本の政治機構 現代日本の政治 現代の国際政治	現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心を高め、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解させるとともに、民主主義の本質について把握させ、政治についての基本的な考え方を身につけさせる。 国際社会の変遷、人種、主権国家、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握させ、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。
	9 10 11 12	5 6	現代の経済	経済社会の変容 現代経済のしくみ 現代経済と福祉の向上 世界経済と日本	経済活動の意義、国民経済における家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働きについて理解させ、現代経済の特質について把握させ、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる。 貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について把握させ、国際経済における日本の役割について考察させる。
3	1 2 3	3 2	現代社会の諸課題	少子高齢社会と社会保障 産業構造の変化と中小企業 農業と食糧問題 地球環境の保全と経済成長 人種・民族問題	少子高齢社会と社会保障、地域経済の変貌と住民生活、雇用と労働を巡る問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食糧問題などについて、政治と経済とを関連させて探求させる。 地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済関係格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割について、政治と経済とを関連させて探求させる。